

学校名 川内南中学校 校長名 松本 眞一

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)		対策・改善点	評定(数値平均)		主な意見		
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数		3.1	・地域との行事やPTA・授業参観等で連携をとることが可能な状況にもなりつつあるので、そのような機会を充実させていく。		段階	人数
			A	6	A			4		
			B	21	B			1		
			C	4	C			0		
D	0	D	0							
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	3.2	・魅力ある学年づくりとして取り組みを始めた。組織的な取り組みとして継続させていく。	段階	人数	4.0	・数回の授業参観で先生方の工夫が十分に見受けられた。ICT機器等の利用,生徒への投げかけ方,一方的な授業ではなく,主体性を持たせる授業であった。
			A	7			A	5		
			B	24			B	0		
			C	0			C	0		
D	0	D	0							
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	3.3	・生徒の居場所づくりや絆づくりを学年として取り組んでいる(構成的グループエンカウンターや学年通信のキラリコーナーなど)。	段階	人数	4.0	・体育大会で開会式において生徒の生き生きとした姿が見られた。 ・生徒達にリードさせる授業において積極性が大いに見られた。(発言や態度)
			A	9			A	6		
			B	22			B	0		
			C	0			C	0		
D	0	D	0							
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	3.3	・学年で情報共有して,早期に対応できており,継続していけたらいい。	段階	人数	3.7	・関係機関と良く連携がとれている。 ・不登校の理由もいじめではなく,家庭内事情が多いと聞く。
			A	11			A	4		
			B	18			B	2		
			C	2			C	0		
D	0	D	0							
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	3.7	・その都度、適切に対処しており、意識付けができています。	段階	人数	3.6	・自転車通学等良く指導されている。 ・中学生は、やはり自転車マナーが問題かと。話に夢中になって、生徒がたまに危なく感じる。
			A	21			A	3		
			B	10			B	2		
			C	0			C	0		
D	0	D	0							
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	3.2	・可能な範囲でPTAの際に授業参観も行うようにする。 ・地域貢献活動などの行事を継続して取り組んでいく。	段階	人数	3.2	・「働き方改革」等もあり,地域や保護者との関係を築くのも難しい中で,部活動で頑張っている先生方も拝見している。 ・コロナ禍でも尽力している。
			A	8			A	1		
			B	20			B	5		
			C	3			C	0		
D	0	D	0							
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	3.6	・職員が協力したり、清掃時間にも草抜きなどを充実させたりできているので、継続して取り組んでいく。	段階	人数	3.8	・四季の花々の管理。学校裏の見えないところ(自転車置き場)の整理,トイレなど大変整っていると思う。
			A	19			A	5		
			B	11			B	1		
			C	1			C	0		
D	0	D	0							
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	3.5	・安全点検の徹底と修繕のための予算確保。	段階	人数	3.3	・市の予算の関係で改善が思い通りにならないと思うが,危ない箇所には立入禁止の札等かけていた。 ・良く管理されている。
			A	18			A	2		
			B	12			B	4		
			C	1			C	0		
D	0	D	0							
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	3.3	・学校だよりで保護者・地域に情報を発信している。	段階	人数	3.3	・広報等で随時周知され,それぞれの実態がより分かりやすい。 ・私は学校だよりを拝見しているが,地域の方々は微妙かと思う。
			A	9			A	3		
			B	21			B	2		
			C	1			C	1		
D	0	D	0							
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	3.0	・様々な企業等と連携を図って,教育活動を行えている。	段階	人数	3.2	・保護者は共働きの多い中,PTAの係の方々は一生涯懸命されている。ただ,保護者・教職員・地域の方々にも個々により温度差があるように感じることもある。
			A	4			A	1		
			B	24			B	5		
			C	3			C	0		
D	0	D	0							

様式6 令和4年度 学校関係者評価結果

No.2

学 校 名
川内南中学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)				主な意見				
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均	・児童と生徒の交流も充実させるよう努力しているが、職員の連携も充実させることも必要だと感じる。	段階	人数	平均	・小中連携が取れている。 ・小学校と行き来して、積極的に交流されていると感じる。ただ、大きなメリットがいまいち分かりません。	
			A	7			3.2	A			2
			B	22				B			4
			C	2				C			0
D	0	D	0								
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	・地域の方々の協力で活動が充実している。今後も協力していただけると有り難い。 ・自分自身の理解が不足しているので勉強します。	段階	人数	平均	・良く企画されている。 ・薩摩川内元気塾は生徒の好奇心をそそる良い事業だと思います。ただ、ネタがだんだん無くなってくるのではと危惧しています。	
			A	12			3.3	A			4
			B	17				B			2
			C	1				C			0
D	1	D	0								
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	・英語検定と英検IBA等を効果的に活用していく(事前指導と事後指導)。 ・ALTとの連携を深めていく。	段階	人数	平均	・外国人の講師がいらっしやったり、先生方の発音が良かったりびっくりした。タブレットの利用も有効だと感じた。	
			A	8			3.2	A			2
			B	20				B			2
			C	3				C			0
D	0	D	0								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	・生徒会を中心に生徒のあいさつが良くなってきた。今後も学級、学年、部活動等で更に徹底していくようにする。	段階	人数	平均	・よくあいさつは返してくれる。校内と校外で違いがあるが防犯上やむを得ない。 ・進んであいさつをする生徒がいる中、反応が無い生徒も存在する。あいさつは習慣。	
			A	2			3.0	A			1
			B	26				B			3
			C	3				C			2
D	0	D	0								
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均		
			A				#DIV/0!	A			
			B					B			
			C					C			
D		D									
16	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均		
			A				#DIV/0!	A			
			B					B			
			C					C			
D		D									

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

- ・学校だよりなどを活用して、更に積極的に情報発信に努める。
- ・登下校時の安全指導を徹底し、地域と連携した危険箇所の早期発見と改善策を検討していく。
- ・来年度も学校運営協議会の中で、担当職員から直接説明をさせることでより具体的な取組に触れていただきたい。
- ・学校・保護者・地域と一緒に活動する機会が少ないので、そのような機会を設け、連携を深めていきたい。
- ・学校に地域の方々にもっときていただくような機会(川内南中学校美術館等)を設けるように検討する。
- ・学校運営協議会でテーマを決めて、集中して協議する方法について検討する。